

令和7年度 岩倉市立岩倉中学校 学校評価アンケート集計結果						○成果と●課題		改善への取組			
						4	3	2	1		
<b>授業・学びへの意識</b>											
生徒	授業は、あなたに「もっと学びたい!」という気持ちをもたせてくれますか?	12%	52%	30%	5%	2.72		<ul style="list-style-type: none"> <li>○「できなかったことができるようになる喜び」や、実技・ゲーム形式の導入が「もっと学びたい」気持ちにつながっている。</li> <li>●説明ばかりの授業は退屈と感じる傾向。グループワークや生徒自身が調べる学習など、生徒主体の授業形式を求めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業形態を工夫し、楽しみながら定着を図る場面をつくっていきます。</li> <li>・生徒がタブレット等で調べたり、グループワークの活動をしたりする中で、「主体的な学び」が深まる場面を増やします。</li> </ul>		
教師	あなたの授業は、生徒の探究心をくすぐり、学びたい気持ちを強く引き出せていると感じますか?	2%	63%	35%	0%	2.67		<ul style="list-style-type: none"> <li>○発問の工夫や個に応じた課題設定が生徒の意欲向上。今後はAI活用や、生徒を巻き込んだ授業研究に挑戦したい。</li> <li>●教材研究の時間が不足している。また、基礎定着に時間を割かざるを得ない現状もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究推進部を中心とし、授業研究を計画的に実施し、AI等の技術も取り入れながら、教員が「生徒を惹きつける授業」への授業改善を推進します。</li> </ul>		
<b>安心感のある学校</b>											
生徒	学校のルールは、みんなが毎日を気持ちよく、楽しく過ごすために役立っていると感じますか?	27%	56%	15%	2%	3.09		<ul style="list-style-type: none"> <li>○今のルールで特に不便はなく、ちょうどよいと感じている。</li> <li>●髪型・服装(冬のジャージ、靴下の色)などの緩和を求める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の決まりについて、生徒会や委員会などの場を活用して、生徒が対話の中で、時代の変化に合わせた柔軟な見直しをしながら、きまりのアップデートを検討していきます。</li> </ul>		
生徒	学校には、困ったときや不安なときに、あなたの話を聞いてくれる先生や仲間がいますか?	45%	44%	8%	2%	3.33		<ul style="list-style-type: none"> <li>○親身になって話を聞いてくれる先生や、信頼できる友達がいるから安心できる。保健室や相談室など、教室以外にも逃げ場があるのがある。</li> <li>●クラスに仲のよい友達がいなくて不安。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の指導対応の差をなくするために、教職員間での情報共有を密にしたり、職員相互での研修会を行ったりすることで、一貫性のある生徒指導を再確認し、お子様を見守る体制を強化します。</li> </ul>		
保護者	学校は、お子さんが毎日を心穏やかに、安心して過ごせるよう、大切に见守ってくれていると感じますか?	19%	65%	14%	2%	3.00		<ul style="list-style-type: none"> <li>○担任のこまめな連絡や気遣い、「ほっとる〜む」の存在に感謝。家庭でも生活リズムを整えサポートしたいと考えている。</li> <li>●教師の指導対応に差を感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子様がより安心して本音を話せるよう、スクールカウンセラーとの連携や、教職員の傾聴姿勢のさらなる向上に努めます。</li> <li>・ほっとる〜むなどお子様が教室以外でも安心して過ごすことができる環境をつくり、サポート体制を整えていきます。</li> </ul>		
教師	あなたは、すべての子どもが自分に自信を持ち、安心して学校生活を送れるよう、心を込めて関わり、手を尽くしていると感じますか?	24%	65%	11%	0%	3.13		<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒や家庭の声に耳を傾け、粘り強く関わることを実践。生徒が保健室から元気になって戻る姿などに手応えを感じる。</li> <li>●業務に追われ、心身・時間に余裕がなく、全ての生徒に十分手を尽くしているか心配。</li> </ul>			
<b>学校生活の充実と情報発信</b>											
生徒	今の学校での学びや経験は、あなたが思い描く未来につながっていると感じますか?	25%	58%	15%	2%	3.06		<ul style="list-style-type: none"> <li>○職場体験や進路学習、主要教科(英数)は将来役立つと実感。</li> <li>●夢がないと学びに繋がりにくい。具体的な職業・受験情報の提供や、自分の興味や受験勉強に集中できる時間の確保を要望。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の「今の学びが未来にどう繋がるか分からない」という声に応え、学習の目的意識を高める取り組みを強化します。働く人の話を聴く会や職場体験など、「生きた職業観」に触れる機会を整えていきます。</li> </ul>		
保護者	学校行事は、お子さんや地域の方々にとって、よい思い出になる意味のあるものになっていると思いますか?	34%	56%	10%	0%	3.23		<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育大会でブロックでの活動は、交流が広がりよい取り組みである。名古屋分散学習や職場体験は、自分たちで考え行動する貴重な機会となり、プラスになった。</li> <li>●合唱発表会の練習に負担がかりすぎないようにしてほしい(指揮、伴奏者など)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育大会の観覧席での参観マナーについて、PTA委員の協力も得ながら、保護者の皆さんが気持ちよく参観できる環境を整えていきます。</li> </ul>		
保護者	お子さんの学校での様子について、「知りたいな」と思う情報が十分に届いていると感じますか?	10%	59%	29%	2%	2.77		<ul style="list-style-type: none"> <li>○プリントだけでなく「すく〜る」でも配信されるため、子供が出し忘れても親や家族とも共有しやすく非常に助かっている。</li> <li>●更新が少なく、学校の様子が伝わりにくい。頻度が下がったように感じる寂しさがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「すく〜る」や学校HPのデジタルの発信の活用をすすめ、保護者への「情報の出し忘れ」を防ぎます。</li> </ul>		
<b>地域学校協働活動</b>											
生徒	あなたの暮らすまちをよくする活動(清掃、お祭り、ボランティア活動など)に、自分から参加してみたいと思いますか?	18%	37%	35%	9%	2.64		<ul style="list-style-type: none"> <li>○祭りなどは楽しそうだし、運営側やボランティアとして参加してみたい。ゴミ拾いなどは街が綺麗になる達成感・充実感がある。</li> <li>●「面倒くさい」「時間がない」「人見知りで知らない人と話すのが苦手」といった理由で参加したくない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ボランティアについては、「岩中おたすけ会」によるボランティアの協力もえながら、具体的な日時・内容を指定した「スポット募集」を行い、参加しやすい環境を整えていきます。</li> </ul>		
保護者	学校をよりよくする活動に、保護者として力を貸せる機会があると感じますか?	5%	52%	42%	1%	2.60		<ul style="list-style-type: none"> <li>○単発のボランティア(調理実習の手伝い、ミシン指導、読み聞かせ、清掃、草刈り、登下校の見守り)であれば協力したい。</li> <li>●共働き(フルタイム勤務)のため、平日の参加やPTA活動は物理的に難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学校協働活動として、生徒が地域のお祭りなどの活動に「参加者」としてだけでなく、運営側「お手伝い」や「ボランティア」として関わる仕組みを調整し、地域の役に立つ達成感を通じて、自己有用感を育みます。</li> <li>・部活動地域移行・地域展開を視野に入れながら、部活動指導員や部活動サポーターを活用した部活動を進めていきます。</li> </ul>		
保護者	あなたの持っている経験やスキルを生かして地域活動に協力してみたいという気持ちがありますか?	7%	35%	47%	12%	2.37		<ul style="list-style-type: none"> <li>○清掃活動、挨拶運動、資源回収などであれば参加しやすく、地域貢献になると感じる。部活動の外部コーチや練習の見守りなどの協力に協力がある。</li> <li>●仕事や家事で手一杯であり、気持ちはあっても参加は難しい。</li> </ul>			
教師	地域の持つ様々な力(人、場所、知識)を、学校の教育活動にもっと積極的に取り込む必要があると思いますか?	30%	65%	4%	0%	3.26		<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の力(部活動指導員、ボランティア)を活用することは、教育の質を高め、教員の負担軽減にもつながる。今後も地域の力を教育の場に活用したいと考える。</li> <li>●生徒数が多いため、活動内容によっては、ボランティアの確保や時間調整に時間を要する場面がある。</li> </ul>			
<b>教師のやりがい</b>											
教師	同僚やチームで、学校の課題を前向きに、活発に話し合い、解決しようと協力し合っていると感じますか?	17%	59%	20%	4%	2.89		<ul style="list-style-type: none"> <li>○学年内では課題解決に向けた体制ができている。職員室での会話も活発である。「こまめに話し合う」「見通しを持って早めに情報共有する」ことを意識している。</li> <li>●学年を超えた連携や情報共有には課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年内の良好な連携を学校全体へ広げ、生徒の変化や課題に迅速に対応できる体制を整えます。</li> <li>・それぞれの得意分野や専門性を生かした授業実践を共有し、同僚と協力して「授業を創る楽しさ」を共有できる研修機会を設けます。</li> </ul>		
教師	あなたは、生徒の成長や学びに貢献すること、自身の専門性を生かすことなど、教師という仕事にやりがいを感じますか?	48%	46%	7%	0%	3.41		<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の「わかった」「できた」という変化や、予想を超える成長を見た時に大きなやりがいを感じる。同僚とチームとして成長できた時にも充実感がある。</li> <li>●生徒と関わる時間を確保するための業務改善が必要。</li> </ul>			
質問を分類し、生徒・保護者・教師の質問を同項目のものをまとめて並べている。		回答の割合を数値と帯グラフで表記。割合で着目するところは太字等で表記。どても思う…4、やや思う…3、あまり思う…2、全く思う…1点でカウントし、回答の平均点を算出。									